

# 校内研修計画

山梨市立山梨南中学校

## 1. 学校課題

### (1) 地域の概要

本学区は、都市的性格の強い加納岩地区と農業的性格の強い山梨地区・日川地区の3つの地区から成り立っている。また、わずかではあるが他学区からの生徒もいる。保護者の職業は、会社員・公務員などが多く、かつては多数を占めていた専業農家は2割程度へと減少している。日川地区・山梨地区での農業は、ぶどうや桃などの果樹栽培が中心で、ビニールハウス栽培なども盛んである。また、国道沿いの立地条件を生かした観光ぶどう園も多い。

こうした中、地域の教育に対する関心は高く、学校教育に対しても期待をもちながら、理解と協力を惜しまない。また、PTA活動も活発で、関連行事への参加率も極めて高い。引き続き、地域で子どもたちを育てるという視点を大切にしながら、地域や家庭における教育の充実を一層図っていきたい。

### (2) 本校の生徒の実態から

しっかりと挨拶ができ、素直な生徒が多い。学習面において、意欲的に取り組む生徒が多い反面、自ら考え判断する力や表現する力、自分の力で問題解決を図ろうとする力などは、まだまだ十分とは言えない状況が見られる。

## 2. 研究主題

「**確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫**」  
～ 「**やまなしスタンダード**」を取り入れた授業づくり ～

## 3. 主題設定の理由

子どもたちが主体的に学ぶことや、学級やグループの中で協働的に学ぶことの重要性について、さまざまなところで話題になっている。

2016年12月の中央教育審議会答申を踏まえ、学習指導要領が改訂され、中学校では2021年度から全面実施となる。次期学習指導要領については、学習する子どもの視点に立ち、教育課程全体や各教科等の学びを通じて「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を見据えた改善が図られる。特に、子どもたちが「どのように学ぶか」に着眼して、学びの質を高めていくために、「学び」の本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した「アクティブ・ラーニング」の視点から授業改善の取り組みがすでに進められており、山梨県においても学校教育指導重点に盛り込まれ推進が図られている。

本校では昨年度より「確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫～『やまなしスタンダード』の定着を目指して～」を研究主題として校内研究を進めている。確かな学力を育成するために、「やまなしスタンダード」の視点を積極的に取り入れ、授業の中に生徒が思考し表現する場面を設定し、自らの力で解決する能力と態度を養う授業、また、言語の能力は子どもたちが他者や社会と関わる上で必要な力であることを踏まえ、言語力の育成や活用を意識し、生徒に考えさせる発問や教材等について日々の授業実践を通して研究を進めているところである。あわせて、「自主学習ノート」など家庭学習の取り組みについても家庭の協力を得ながら進めている。

そうした昨年度の取り組みを継続して、「やまなしスタンダード」授業づくりの7つの視点を取り入れた授業改善を図りながら、確かな学力の定着・向上を目指した研究を「チーム南中」として取り組んでいきたい。

## 4. 研究の具体的内容と方法

### (1) 教科別研究会 3回(6月・8月・1月)

- ①「確かな学力の向上」を目指した授業づくり・授業改善
- ②「やまなしスタンダード」を取り入れた授業づくり・授業改善

**\* 授業の構造化**  
**\* 主体的・対話的な深い学び**  
**\* 学力調査結果を生かした授業改善**

- ③「本時の目標（見通し）」の提示と「まとめ（振り返り）」
- ④アクティブ・ラーニングからの授業改善

<分析部会> 2回（6月・8月）

- ・全国学力学習状況調査や県学力把握調査など分析と対策 → 授業改善に生かす
- ・結果分析について、校内研究会の場で情報共有し、他の教科においても授業改善に生かす

(2) 学年別研究会 3回（5月・8月・12月）

- ①よりよい学級・学年集団づくり
- ②Q-U検査の分析 → 個への対応、集団づくり
- ③家庭学習の定着を図る → 「自主学習ノート」の取り組み
- ④「自学の時間」の効果的な活用

(3) 授業研究 3回（7月・10月・11月）

- ①授業研究は、道徳1本を含む計3本とする。
- ②指導主事を招聘して授業研究を行う。
- ③「やまなしスタンダード」7つのどの視点を取り入れた授業なのか、また、主体的な学び、対話的な学び、深い学びのいずれの学びを意識した授業なのかを明確にし、同じ視点で全体協議・研究する。

## 年間校内研修計画

研究主任 立川慶樹

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C 要請
主題 「確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫」	<全体会> ①研究の方向性および研究主題の設定 ②各種学力調査の分析結果を共有する ③SNS等に関する学習会 ④研究のまとめ			4月 9月 9月 2月	予定
～「やまなしスタンダード」を取り入れた授業づくり～	<教科別研究会> ①研究目標や具体的な取り組み計画 ②各種学力調査の結果分析 ③授業研究 道徳 国語 理科 ④研究のまとめ	奥山 日野原 大澤	2年 1年 1年	6月 6・8月 7月 10月 11月 1月	予定 予定 予定
	<学年別研究会> ①家庭学習および自学の時間の取り組みについて ②Q-U分析			5月（通年） 8・12月	